

令和5年12月14日

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

「アマモメッセンジャー」が関東地方整備局を訪問 ～子供達が採取した「アマモの種」で東京湾再生を～

横浜市立金沢小学校と横浜市立みなとみらい本町小学校の子供達がサンタクロースに扮し、「アマモメッセンジャー（アマモに東京湾再生のメッセージを込める者）」として関東地方整備局を訪れます。

アマモ場は、沿岸の浅瀬に分布し「海のゆりかご」とも呼ばれ、魚類などの産卵場・生育場として重要な役割を果たしています。近年は、二酸化炭素を吸収し温暖化防止に貢献するブルーカーボン生態系を代表する海草として、世界的に注目を受けています。

横浜市立金沢小学校は、「金沢八景－東京湾アマモ場再生会議」とともに金沢区の「野島海岸」や「海の公園」でアマモ場の再生活動に熱心に取り組んできました。平成19年からは、「東京湾を海の生き物でいっぱいにして欲しい」との願いを込めて、採取したアマモの種を関東地方整備局へ託す取り組みを行っています。今年も昨年に引き続き、環境保全活動に力を入れている横浜市立みなとみらい本町小学校も参加します。

関東地方整備局では、アマモメッセンジャーからプレゼントされた種を活用して、東京湾の再生活動の拡大を支援してきます。当日は、子供たちの日頃の活動への感謝の気持ちを伝えるために、以下の日程でセレモニーを行います。

<セレモニーの概要>

- 開催日時 令和5年12月22日（金）15:00～16:00
- 開催場所 関東地方整備局港湾空港部 横浜第二合同庁舎14階 141・142会議室
- 開催内容 アマモメッセンジャーからの「メッセージ」、アマモの種の受け渡し 等
- 参加者 横浜市立金沢小学校、横浜市立みなとみらい本町小学校、一般財団法人みなと総合研究財団、金沢八景－東京湾アマモ場再生会議、NPO法人海辺づくり研究会、東京湾の環境を良くするために行動する会、ハマの海を想う会、東京湾UMIプロジェクト参加団体
- その他 取材をご希望される報道関係者の方は、別添「取材登録書」により12月21日（木）14:00までに電子メールにてお申込み下さい。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部（横浜庁舎）

TEL：045-211-7404 E-mail：pa.ktr-umipro@mlit.go.jp

事業継続計画官 伊勢 勉（いせ つとむ）

課長補佐 名嘉 元康（なかもとやす）

(別添)

取材登録書

取材を希望される方は、事前に電子メールにてご登録をお願いします。

送付期限: **令和5年12月21日(木)14:00まで**

様式は次の関東地方整備局港湾空港部HPの記者発表欄のExcelファイルを活用ください。

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/news/kisya.htm>

送信先: 関東地方整備局港湾空港部 事業継続計画官室

送付先アドレス: pa.ktr-umipro@mlit.go.jp

◆報道機関名

◆取材者

1) 代表者

2)

3)

◆連絡先(代表者の連絡先) →取材当日に連絡可能な携帯電話等

【備考】

・上記の「◆連絡先(代表者の連絡先)」には、取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入して下さい。(取材当日に変更等が生じた場合に連絡します。)

【取材当日の連絡・問い合わせ先】

関東地方整備局 港湾空港部 事業継続計画官
伊勢 : 090-1044-2035

【取材申込み送付先】

関東地方整備局 港湾空港部 事業継続計画官室
名嘉、河合
pa.ktr-umipro@mlit.go.jp